

衛生行政報告例の概況

1 精神保健福祉センターにおける相談等

精神保健福祉センターにおける来所による相談延人員は 184 人となっている。主な相談内容別にみると、「心の健康づくり」が 63 人 (34.2%) と最も多く、次いで「思春期」34 人 (18.5%)、「ギャングブル」31 人 (16.8%) となっている。電話による相談を受けた延人員は 7,047 人、電子メールによる相談を受けた延人員は 23 人となっている。

2 栄養

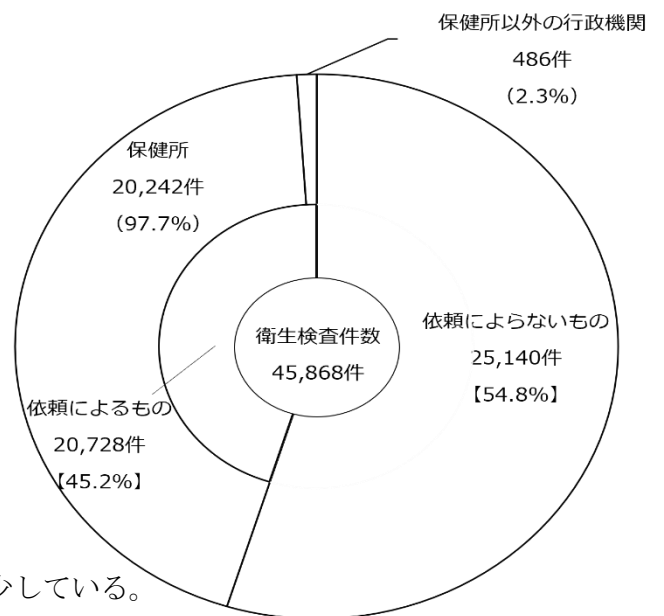
給食施設数は、前年より 22 施設増加し 961 施設となっている。施設別にみると児童福祉施設が 258 施設 (26.8%) と最も多く、次いで学校の 136 施設 (14.2%) となっている。

3 衛生検査

衛生薬業センター及び環境センターにおける検査件数は 45,868 件で、依頼によるものが 20,728 件、依頼によらないものが 25,140 件となっている。

依頼経路別では、保健所が 20,242 件と最も多く、そのなかでは、ウイルス・リケッチア等検査が 19,226 件と最も多い。依頼によらないものでは、放射能測定が 11,887 件と最も多くなっている。

図 1 衛生検査状況 令和 2 年度 佐賀県



4 不妊手術

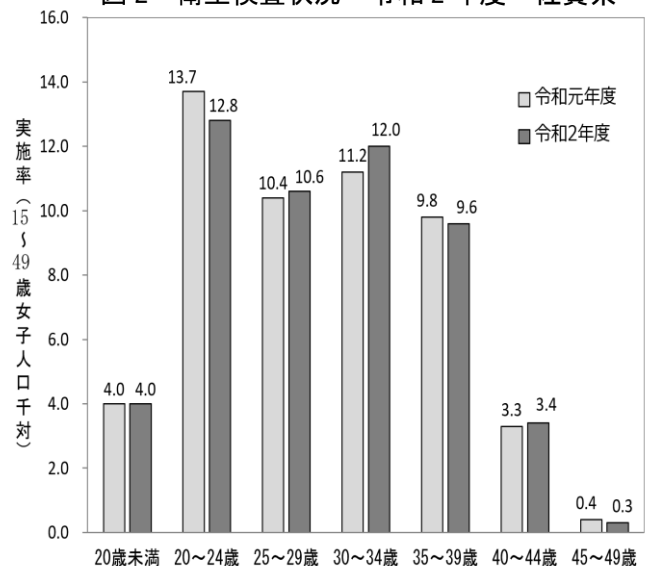
不妊手術件数は 71 件で、前年と比較すると 3 件減少している。

5 人工妊娠中絶

人工妊娠中絶件数は 1,022 件、前年と比較して件数は 48 件減少し、実施率 (15 歳以上 50 歳未満女子人口千対) は 6.9%で、前年より 0.1 ポイント下回っている。

人工妊娠中絶実施率は、平成 13 年度から 28 年度まで低下し続け、平成 29 年度には一旦上昇したものの、平成 30 年度からは再び低下へ転じている。

図 2 衛生検査状況 令和 2 年度 佐賀県



6 就業保健師・助産師・看護師・准看護師

(1) 就業保健師等の年次推移

令和2年末現在の就業保健師は511人（男9人、女502人）で前回（平成30年）に比べ18人（3.5%）増加している。

就業助産師は256人で、前回に比べ19人（7.4%）増加している。

就業看護師は、11,389人（男1,511人、女9,878人）で、前回に比べ452人（4.0%）増加している。

就業准看護師は4,299人（男479人、女3,820人）で、前回に比べ230人（5.4%）減少している。

(2) 年齢階級別にみた就業保健師等

年齢階級別にみると、保健師は「40～44歳」が82人（構成割合16.0%）と最も多くなっており、助産師は「25～29歳」50人（19.5%）、看護師は「40～44歳」1,668人（14.6%）、准看護師は「55～59歳」599人（15.7%）となっている。